

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表:令和 4年 2月22日

事業所名 こどもくらぶガジュマ〜ル

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	2	1		規程通り以上の施設基準は満たしています。死角となるスペースがあるため、マットの色を変えたり、利用者様の特性を考慮レイアウト変更するなど柔軟に対応しています。
	2	職員の配置数は適切である	5	2	0		適切に配置しております。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	2	3	2		トイレ部分に段差があったりと十分なバリアフリー環境とはいえないので、必要とされる利用者様がいらした時は検討課題として考えていきます。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	2	0	・申し送り等も含めて、業務改善を進めるために話し合いを行っています。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	0	0	保護者向けのアンケートを共有し改善を図っており、毎年、ホームページにその自己評価結果を掲載しております。	掲載した際には、保護者様および職員へお伝えしてまいります。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	1	1		・今後も自己評価結果をホームページ上で公開していきます。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	4	1	・保護者様及び関係機関などから評価を頂いて業務改善につなげています。	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	0	1	・順番で研修へ参加しています。	・資質向上のために事業所内・外の研修へこれからも参加していきます。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7	0	0	・日頃より、保護者様及び関係機関などから情報収集し計画を作成しています。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	0	0	・専門書やインターネットの新しい情報を取り入れるように努めています。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	1	0	・チームで活動プログラムを決めています。	今後もチームで活動プログラムを計画していきます。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	1	0	・チームで活動プログラムを決めてワクワク♪ドキドキ♪を大事にしています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7	0	0		・休日、長期休暇などではお休みの時ならではのプログラム活動を取り入れていきます。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	7	0	0	・集団活動を主としながらも個々のペースを大事にして進めていくように計画しています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	0	6	1	・職員間で打ち合わせをしたことを前日、当日で支援内容や役割分担などをしその際はグループLINEも活用しています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2	4	1	当日に職員間で振り返りを行い、気づいた点などを共有し次の支援に繋がるようにこころがけています。また、当日お休みの職員などに共有ができるように記録を用いて活用しています。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	0	0	・職員それぞれの視点を大事に記録し、話し合いを行うための時間を作っています。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7	0	0		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	5	2	0			
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7	0	0	・全職員の意見をまとめてふさわしい者が参画しています。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	7	0	0		

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2	5	0	・お迎えの際にしっかりと申し送りを聞くことに努め情報共有を図っています。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5	2	1	・利用の前に可能な方法で情報を集め、情報共有を図っています。	・今後も継続して取り組んでいきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	1	5	1		・移行期を迎えるご利用様はいらっしゃいません。対象の方がいらっしゃった際は、これまで蓄積した計画・評価などの情報を利用者様の同意を得て、今後必要に応じて連携してまいります。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	3	1	必要に応じて、相談したり情報収集を図っております。研修も受けております。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	4	2	1	・コロナで地域の児童館との交流は難しかったですが、落ち着いたときに他事業所との交流を一度しております。	・コロナが落ち着いた際に、再度、交流を図っていきたくと考えています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1	4	2	・コロナで市区町村の協議会などへ参加が難しいですが、なるべく参加していきたいと思っております。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7	0	0	・情報共有会議や送迎の際にその日の出来事を伝えています。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	3	1	・対応力向上を図るために保護者様のお話をよく聞いて、事業所での成功事例をお伝えしています。	今後は一部の職員がペアトレ研修を受講しておりますが、全職員研修へ参加できるようにしてまいります。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	0	0		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	1	0	・いつでも相談が受けられるように体制を整えています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	7	0	・コロナ禍で保護者会をすることができなかったが、落ち着いた際に保護者会を開催していきます。	・保護者会を計画していましたが、コロナが落ち着いてから来年度は時期を検討していきます。 ・保護者様同士の交流を図るために事業所のお部屋を開放することを検討しています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7	0	0	・送迎時や電話などで保護者様の思いを傾聴を心がけ、必要に応じて迅速に助言を行うようにしています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	1	0	・月の行事予定などを毎月配布したりしています。	
	35	個人情報に十分注意している	6	1	0	・外部講師を呼んで事業所内研修を実施しています。	・来年度の研修計画へ取り入れていきます。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	0	0	・その子の特性を理解して接するように努めています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4	2	1	・コロナ禍によって地域住民を招待することはできなかったが、地域との関わり方も大切に(こどもたちも)している為、また知ってもらうために役所の方へ作品を飾るなどを行った。	・コロナが落ち着いた後、地域交流の方法を再度検討していきます。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6	1	0		・各対応マニュアルを再確認し、保護者様などへお伝えしていきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	1	0	・火災訓練などに取り組みました。	・今後も非常災害発生に備え、定期的に避難、救出の訓練を実施していきます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	1	0	・外部研修はもちろんの事、気になる子に対してチェックを実施しています。	・今後も来年度の研修計画へ取り入れていきます。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	3	4	0		・対象となる利用者がいらっしゃらないために対応しておりませんが、対象となる利用者がいらっしゃる場合には必要に応じて連携して対応していきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	2	1		・対象となる利用者がいらっしゃらないために対応しておりませんが、対象となる利用者がいらっしゃる場合には必要に応じて連携して対応していきます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	1	1	・情報共有を図っており、振り返りも実施しています。	今後も継続してまいります。